



学校評価報告書

学校名 深谷市立川本南小学校

校長名 田 辺 鉄 章



1 学校評価のねらい (学校としての受け止め)

学校教育目標、学校経営方針、具体策とその取組、児童の変容や掲げた目標等に対する評価をいただくとともに、教育環境等に対して広く意見を求め、学校がその意見を真摯に受け止め改善策を講じることで、児童をよりよく成長させることをねらいとする。

2 評価の方法 (自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等)

(1) 自己評価

①児童評価 : 全児童、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)

②保護者評価 : 全保護者、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)

③学校自己評価 : 全教職員、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)

(2) 学校関係者評価

実施方法 : 19名、年間1回、2月、質問紙(無記名)

評価者 : 自治会代表、民生児童委員、学校応援団代表、学校運営協議会委員、PTA本部役員、PTA顧問

(3) 第三者評価 実施していない。

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化

①児童評価

・「家や地域の人にあいさつができます。」 96.2% → 96.7%

・「家の人に友だちや学校のことを話します。」 84.1% → 84.6%

・「家で、お手伝いや仕事をします。」 88.4% → 88.5%

②保護者評価

・「学校が好きと言っている。」 92.8% → 93.2%

・「授業が分かりやすいと言っている。」 90.0% → 95.5%

・「学校は、教育活動を分かりやすく伝えている。」 97.7% → 99.5%

③学校自己評価

・「あたりまえのことがあたりまえにできる児童育成 100% → 100%

- ・「主体的な活動をさせる授業や指導」 91.7% → 100%
- ・「充実した学校生活を送るための積極的な指導」 92.9% → 100%

④学校関係者評価

- ・7項目の設問中、4項目で「そう思う」の数値が昨年度の同時期を上回った。
- ・「学校は、学習に適した環境を整えている。」 69.2% → 88.2%
- ・「学校は、児童を適切に指導している。」 61.5% → 82.4%

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

【進んで学ぶ子】

- ・「進んで学習や運動に取り組んでいます。」 96.2% → 94.0%
- ・「家では、自主勉強をしています。」 89.0% → 82.4%
- ・「進んで学習に取り組んでいる。」と言っている。 81.1% → 86.5%

【思いやりのある子】

- ・「川本南小学校が好きです。」 97.3% → 96.1%
- ・「わたしは、友だちを大切にしています。」 100% → 99.4%
- ・いじめ防止と早期発見・早期対応 100% → 100%

【体をきたえる健康な子】

- ・児童の体力は向上したか。 100% → 100%
- ・体力向上のための工夫や活動を展開できたか。 100% → 100%

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

- ・授業は、楽しくて分かりやすい。 95.1% → 95.1%
- ・工夫した指導やその改善に努力しましたか。 100% → 100%
- ・研修の成果は児童に変化をもたらしましたか。 100% → 100%

4 次年度に向けての展望

- ・『学力向上』を引き続き最重点課題とし、マネジメントサイクルに則り、着実に指導を積み上げ、確かな学力を育成する。特に日々の授業の質の向上を図るために、教師の指導力向上へ向け、研修に力を入れたい。
- ・地域行事への教職員の参加は、地域の学校としての信頼関係をより強固なものにすることができた。今後もより自然な形で参加できるように意識を高めていきたい。
- ・学校評価の実効性をより高めることにより、学校運営の改善に積極的に活かし、より一層教育水準の向上を図る。
- ・学校関係者評価を来年度は1回から2回にして実施したい。